



# 戦場の 女兵士捕虜

○ 華とりぼん / ぷりぷり大佐 ○



## ■ まえがき ■

さて、本文に入る前に、あなたには戦時下の兵士の気持ちになっていただきましょう。

そこで、簡略ながら戦争捕虜について説明しておきます。

平和な日常では役にはたたない雑知識ですが。戦争に巻き込まれた時の役にはたつかも？

また、あなたが当作品世界で捕虜に接した気持ちになってください。

「あなたが当事者だったら？」

この作品は、そういうメッセージを含んでいます。

### 【捕虜】

敵軍に捕らわれた軍人。もしくは、それに準ずる者。

民兵隊・義勇隊・義勇軍のような指揮系統を有した、公然なる武装組織戦闘員も含まれる。

これらの組織に属さない者が戦闘行為を行った場合は、捕虜として扱われず。刑法犯罪者として現地の略式裁判で裁かれ。処刑される場合もありえます。

捕虜であれば、無闇に処刑はされないかもしれないが。戦闘資格を有しない者が捕らわれた際は、即処刑ってこともありうるので。怪はずみに武器を敵に向けるようなことはしないほうがいいかも？

捕虜に関しては、近代の国際法によって人権等が守られている。

捕虜として捕らえた者に危害を加えることは、戦争犯罪になる。「ジュネーブ条約」である。

しかしながら、捕虜が虐待・虐殺される可能性はある。

事実、近年でも、イラクで米兵による虐待行為もあったのだから。

当作品のモチーフ世界は1935年ヨーロッパ。

「バーム陸戦条約」「ジュネーブ条約」のようなものがあつたと仮定してもいいだろう。

ただ、史実に照らし合わせたとして。第1次世界大戦～第2次世界大戦の間のヨーロッパ。

かなり悲惨な扱いを受けた捕虜が大勢いても、おかしくない。

このような場、作品・世界観で、あまりリアルな話しを持ち込んでも崩壊します。

だから、直接的史実・現実に伴う表現は抑えています。

あなたの有する知識と想像力で作品に入り込んで下さい。

最後に…

捕虜は「氏名・階級・認識番号・生年月日」以外を話す義務はないです。

…ってというか、それ以外の情報を敵に漏らしてはいけない決まりがあります。

そして、捕虜に対して危害を加えてはいけない国際条約があります。

双方共、決まりはあるし。決まりを破れば、以後、処罰・処刑の対象になります。

でも、その決まりを守れないのが戦争です。

【白旗を掲げ、武装解除して捕虜になる兵士達 / 第二次大戦の写真】

※バックの写真はネットで拾ったものなので、モザイク処理を施してあります。



【ガリア公国義勇軍】

○所属：第3中隊 / 第7小隊

○階級：軍曹

○氏名：アルシア・メルキオット

○身上：孤児院育ち / パシ職人



声を上げるな。  
おとなしく捕虜になれば殺さん。

むぐあつ！

### 【敵の捕虜になってしまったら…】

例え女性であっても、敵の捕虜になれば男女の扱いに差がないと思ったほうがよい。正規軍・義勇軍問わず、女性兵士の場合、それは覚悟しなければならない。

チャラチャラした女性を主張するような…色気を振り撒いたかっこうは、敵を刺激するだけです。

付け加えれば、派手な装飾色は敵の的になりやすい。リボン等は軍事行動に不向き。

敵からすれば自分は憎しみの対象。

祖国を脅かし。仲間を殺し。親兄弟を殺したかもしれない憎き敵。

国際条約や軍規を定めてはいても、戦場…とくに過酷極まった最前戦での捕虜の扱いに甘い期待はしないことである。

捕虜になることと、敵に殺されることは紙一重です。

非道徳な扱いを受けたとしても、それが戦争の本質です。



殺さず捕虜にして連れ帰って、可愛がってやる。

んんん



この目立つ軍服憶えてるぞ。何人も仲間がやられたな。

あううう

んんん





ふーん…  
戦車乗りね



こんな小娘が戦車乗りらしいぜ。  
オレの幼なじみは戦車の砲撃で死んだんだ。  
コイツの戦車だつたかもな。



ソクッ

### 【混沌とした敵の視線に曝される…】

敵の捕虜に対する思いは混沌としている。

当然、憎しみや殺意もある。

捕虜が女性の場合は、男性欲の対象として曝されることも有りうる。

女性捕虜が魅力的な容姿であれば、なおさらのこと。

戦場下では…とくに過酷な最前線においては、男性兵士は女性に飢える。

無抵抗で半ば人権を奪われた女性捕虜は、男性兵士にとって魅力ある御馳走に映ってしまうのは当然の成り行きであろう。

戦場下で抑圧された男性兵士が、女性捕虜を女性と見なしてしまう…という性を拭い去ることはできない。

「憎き敵」でありながらも、SEX対象として見なすのである。

もちろん、女性ということで、待遇を和らげるケースはあるだろうが。殺し合いの相手に期待はできない。



【ガリア公国義勇軍】

○所属：第3中隊 / 第7小隊

○階級：伍長

○氏名：イサラ・ギュンター

○身上：ダルクス人 / ギュンター将軍の養女として育つ



【ガリア公国義勇軍】

- ◎所属：第3中隊 / 第7小隊
- ◎階級：伍長
- ◎氏名：ロージー
- ◎身上：酒場で歌姫をしていた



### 【捕虜に対する暴行・虐待】

憎き敵捕虜に対する暴行・虐待は当然有りうる。

それは女性兵士に対しても例外ではない。

敵の情報を得るための拷問によるもの。

または、単なる無抵抗な捕虜に対しての報復・復讐もある。

一般的には、敵情報を引き出すための尋問が、拷問…暴行に…というところ。

自国・戦友の生死に関わることだけに。情報を吐かせるための手段は選ばないと考えるべきだろう。

軍規や国際条約云々を持ち出して抗議してもかまわないが。情報を吐くまで拷問を受ける覚悟はしとくべきだろう。

軍隊には尋問・拷問のプロがいる。

「殺された方が楽だ…」くらいの拷問に耐えられる兵士は少ない。







上等な下着身に付けてるじゃないか。  
良い家のお嬢様か？



### 【身体検査】

捕虜になった際は、当然のことながら身体検査をうける。  
武器や、それにつながる物を取り上げること。敵情報につながるものを得るために。衣類以外の全ては取り上げられてもおかしくない。  
私欲で金品類を奪うこともあるだろう。捕虜が女性であるならば。不必要で過剰な行為もあるだろう。  
過酷な戦場下においては、理性は失われていく。  
非道徳な行為であっても、「ここは戦場なんだ…」という理不尽な状態…集団意識が愚行・犯罪行為を導く。  
あなたが当事者であった際。周辺で行われていく非道な行い…誘い…誘惑に逆らえるだろうか？  
逆らうことが戦友とのコミュニケーションを乱すことにつながったとしても…



ガク  
ガク

イイ乳してるな♪  
これは、ある意味武器だな♪



【ガリア公国義勇軍】

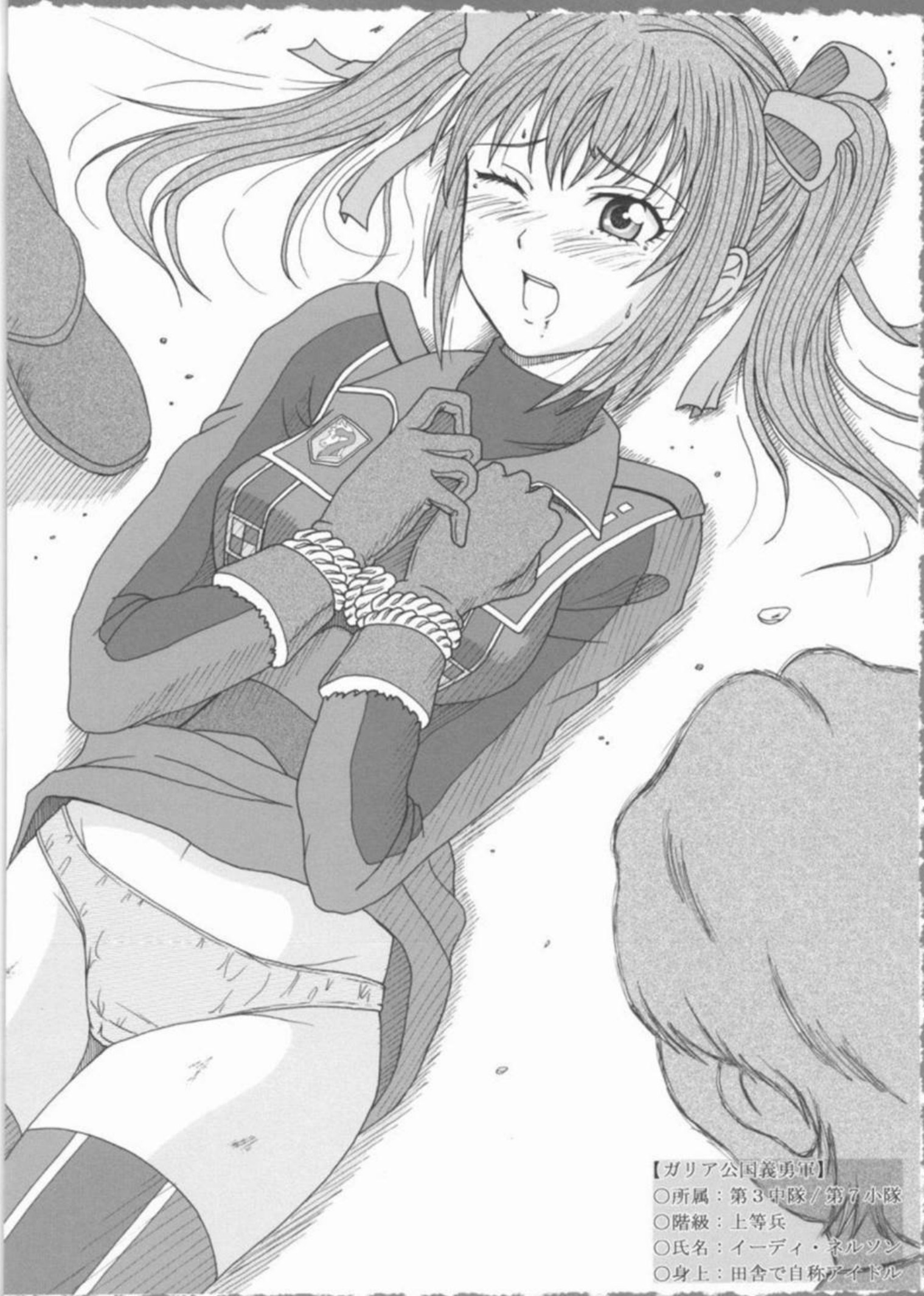
○所属：第3中隊 / 第7中隊

○階級：上等兵

◎氏名：スージー・エヴァンス

○身上：良家の令嬢





【ガリア公国義勇軍】

○所属：第3中隊 / 第7小隊

○階級：上等兵

○氏名：イーディ・ネルソン

○身上：田舎で自称アイドル



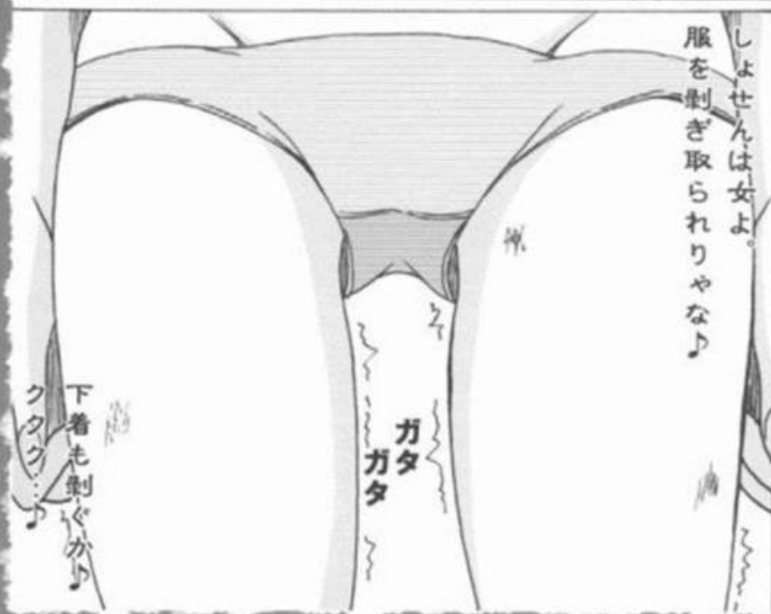
服を脱げ。  
強引に服を剥ぎ取ってもいいんだぞ。

### 【身体検査と称した暴行】

身体検査と称して、衣服を脱がすこともあるかもしれない。  
不必要な行為であったとしても、女性捕虜に対しては、下心で行うことも有りえる。  
また、敵情報を吐かせるための精神的拷問として行うかもしれない。  
また、捕虜とはいえ、不衛生にしとけば病気の発症源になる。  
丸裸に剥かれ。ホースやバケツで水をブっかけるくらいのことはあるかも。  
戦場は不衛生になりがちだから。シラミ対策も重要になってくる。  
戦場での捕虜留置場所なんてのは、体臭等で酷い状態になるだろう。  
汗臭もさることながら、尿や糞臭。男臭・女臭なんてのも強烈。  
家畜小屋さながらになってもおかしくない。



振るえ上がってるぜコイツ。



しよせんは女よ。  
服を剥ぎ取られりやな♪

ガタ  
ガタ

下着も剥ぐか♪  
クタク♪



下も全部脱ぐんだ。





アイシャ・ノーマン上等兵。  
認識番号：お願いももう我慢できない。  
漏れちゃう。



扉を閉めて  
このままじゃ…



見てやるからしろよ。  
聞いたことに答えれば、扉を閉めてやるよ。



お願いです。  
トイレに行かせて下さい。

お嬢ちゃんの部隊編成と戦力は？  
教えてくれたら行かせてあげよう。

### 【人権やプライバシーの剥奪】

水や食事を与えない拷問もあるし。トイレに行かせない拷問もあるかもしれない。単なる肉体的暴行だけでなく。羞恥心を刺激する精神的暴行だってある。しかし、トイレに行かせないで漏らされても、自分たちも臭いし、そもそも不衛生で困る。トイレに行かせても監視の下でさせられることもあるかも…女性にとっては、これも精神的暴行になる。



【ガリア公国義勇軍】

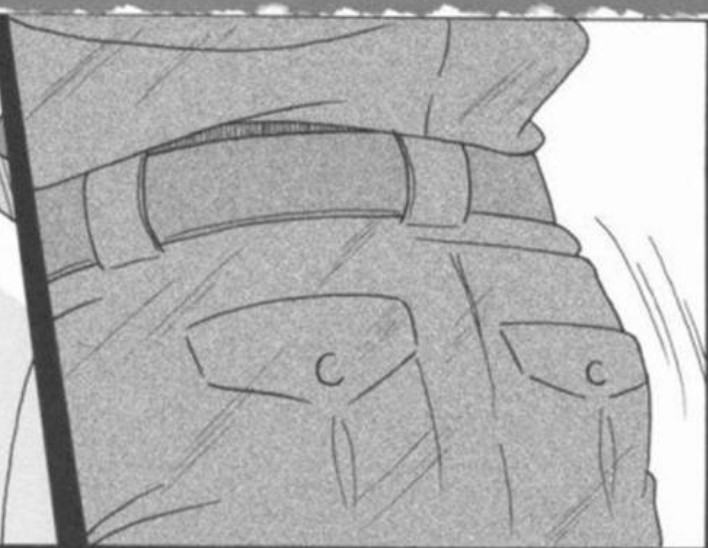
○所属：第3中隊 / 第7小隊

○階級：上等兵

○氏名：アイシャ・ノーマン

○身上：12歳で中学校の軍事教練単位所得の天才





【そして…】

国際条約や軍規を逸脱した暴力や殺害が行われてしまうのが戦争である。

そして、女性捕虜にとって悲惨な暴力行為に強姦（レイプ）が存在する。

当作品の世界・時代設定を現実のヨーロッパ大戦に重ねてしまえば。現実にも軍属捕虜どころか、敵側民間女性に対しての強姦行為も少なくない。

戦争優劣・勝戦敗戦国関わらず多少なりとも行われたし。隠ぺいされてることも多い。

しかしながら、公になれば処罰対象行為になることもある。

敗戦国であれば勝戦国の軍事裁判にかけられる。ヘタしたら裁判もロクにかけられずに死刑なんてこともあるだろう。

反面、勝戦国側の戦争犯罪は隠ぺい…ウヤムヤ…無罪…てなことになることも多いが…

それは現代戦争でも起こりうる。

あなたが当事者であったなら…

それが戦争です…







【人間の本性が露呈するのが戦争】

大義名分や正義を掲げようが、自己防衛であろうが、戦争は殺し合いです。生死が隣り合わせの過酷な状況下で、理性をどこまで保てるでしょう？

「西暦2×××年、日本が戦争状態に…」あなたは否応無く兵士として借り出されました。明日は敵に殺されるかもしれません。敵に対し、どこまで理性的になれるですか？敵も戦友も私的略奪・暴行を行ってます。「オマエもやれよ！」と戦友・上官に強制されました。断固拒絶できますか？「敵や戦友もやってることなんだ…」「オレも…」という気持ちになりませんか？あなたが捕虜になっても、同じような暴行を受けるかもしれません…

捕虜に対する性的暴行の補足…男性捕虜だって例外じゃありません。そういう性癖の兵士も、けっこういます。

